



令和4年9月 市議会定例会

コロナに打ち勝つまちの実現へ

温かみを感じられる施策に向けた補正予算を可決

平塚市議会は、令和4年8月26日から9月21日まで、27日間の会期で9月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、条例の一部改正や令和4年度補正予算、人事案件など25案件が提出され、このうち令和3年度決算の認定などに関する4案件を除く21案件を原案どおり可決、同意しました。

なお、決算の認定などに関する議案は、決算特別委員会において、今定例会後の閉会中に継続して審査することとしました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。



「放課後記念日」
(撮影 石川海斗さん／平塚学園高等学校写真部)

今定例会では、公共施設の備品類の整備や利便性向上に向けたインフラ整備など、地域・経済の担い手である市民や事業者が温かみを感じられる施策や、物価高騰対策など市民生活を守り支えるための経費を中心に、29億7千万円の増額となる一般会計補正予算が提案されました。

主な内容として、原油価格・物価高騰の影響を受けている農家を支援するため、肥料の価格高騰に対応するための経費1580万円が計上されたほか、デジタル化の取り組みを主体的に実行できるデジタル人材の育成経費や、マイナンバーカードを活用した窓口手続きのノライト化に係る経費5980万円が計上されました。また、母子に対するショートステイなどの産後ケアを行い、妊産婦のケアの充実を図るための経費418万6千円が計上されました。質疑では、(仮称)平塚中央ライッセ

一般会計補正予算の一部を紹介

- 保育所運営費等扶助事業
保育士や幼稚園教諭等の処遇改善をするための経費1億5984万円
- 地域経済キャッシュレス化推進事業
市内経済の消費喚起を図り、物価高騰の影響を受けている市内事業者を支援するための経費2億3697万円
- 電気バス導入促進事業
市内を運行する路線バス事業者に対し、環境負荷の低い電気バスの導入を支援するための経費2425万円
- 消防車両整備事業
消防及び救急活動の維持強化に資する各種車両を更新するための経費2億8453万円

ンターの整備に係る経緯や施設内容、今後の取り組みについて問われたほか、肥料の高騰による農業者への支援などが問われました。このほか、左記で紹介する経費などが計上され、採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正

地方公務員の育児休業等

ンターの整備に係る経緯や施設内容、今後の取り組みについて問われたほか、肥料の高騰による農業者への支援などが問われました。このほか、左記で紹介する経費などが計上され、採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆教育長の任命に同意

教育長の任期満了に伴い、本会議の最終日に教育長の任命に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。

◆人事案件に同意

任期満了を迎える教育委員会委員の任命と、公平委員会委員、固定資産評価審

査委員会委員の選任、人権擁護委員の推薦に関する議案が提出され、全員異議なく同意しました。

「教育委員会委員」

○大野かおり氏(南原二丁目)

「人権擁護委員」

○和田貴子氏(平塚三丁目)

決算特別委員会を設置

令和3年度一般会計・特別会計決算及び公営企業決算の認定に関する議案が提出されました。

新型コロナウイルス感染症の再流行やウクライナ情勢等により先行き不透明な状況の中、一般会計の決算額は、歳入が1064億987万円、歳出が1020億6997万円、前年度比11・2%の減少となりました。歳入では、感染症対策に伴う国庫支出金の減少などがありませんでした。歳出では、特別定額給付金給付事業や教育の情報化推進事業減少などがありました。

特別会計のうち競輪事業では、感染症の影響による無観客開催やレース中止が続く中、感染症対策を徹底し、記念競輪や、ミッドナ

議会では、詳細な審査を行うため決算特別委員会を設置し、閉会中に継続審査することとしました。(特別委員会の委員構成は8面に掲載しています。)

主な内容

総括質問	2~7面
清風クラブ	2・3
諸伏清児 佐藤貴子 須藤量久 黒部栄三	
しらさぎ・無所属クラブ	4
端 文昭 白井照人 金子修一	
湘南フォーラム	5
出村 光 久保田聡 小泉春雄	
公明ひらつか	6
上野仁志 鈴木晴男	
日本共産党平塚市議会議員団	7
松本敏子	
常任委員会の審査概要	3・6・7面
審議の結果	8面

「公平委員会委員」

○永山茂樹氏(八王子市)

「固定資産評価審査委員会委員」

○添田直氏(中郡大磯町)

○和田貴子氏(平塚三丁目)